

# ドクガ・チャドクガ

ツバキなどの葉裏にビッシリ毛虫がついていることを見かけることがあります。ドクガやチャドクガは、毒針毛を持っており、かゆみ・炎症を起こします。



ツバキの葉裏にいたチャドクガ幼虫（宮前区初山・6月）

**この虫 ワンポイント**

- 葉裏に毛虫が並んでる
- 毒針毛により 皮膚炎 激しいかゆみ
- 毒針毛は 卵から成虫まで

人体に害あり

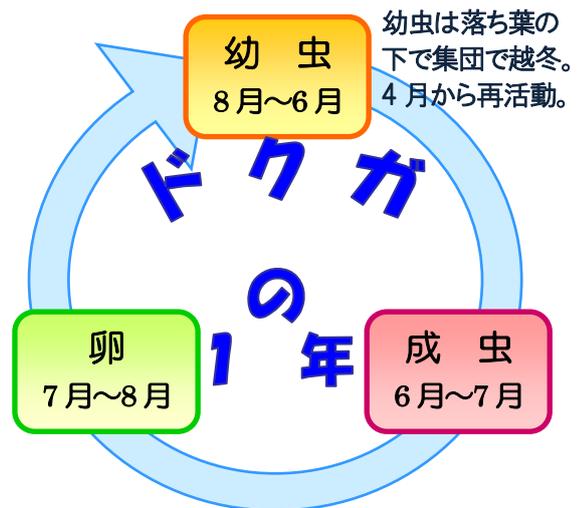
## ■ ドクガ

### ● 形態

- ・ 幼虫の体長は約 40 mm、黒地に橙赤色の斑紋。
- ・ 成虫の前翅の長さは約 20 mm、濃黄色で中央部に「くの字」状の黒～紫褐色帯があります。

### ● 生態

- ・ 成虫は年 1 回発生します。
- ・ 幼虫はバラ類（サクラ・ウメ・リンゴ）・ブナ類（クヌギ・コナラ・クリ）、ツツジ類などの葉を食害します。



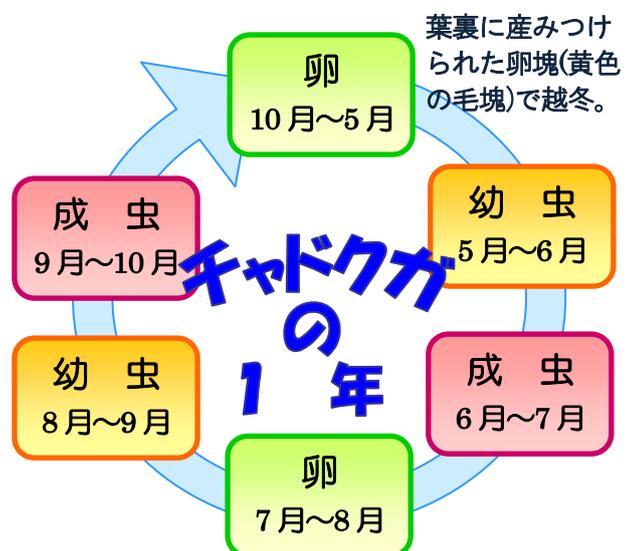
## ■ チャドクガ

### ● 形態

- ・ 幼虫の体長は約 25 mm、黒と橙色の縞模様。
- ・ 成虫の前翅の長さは約 10～15 mm。メスは黄色で翅の先に 2 個の小さな黒点があり、オスはやや小さく黒褐色。

### ● 生態

- ・ 成虫は年 2 回発生します。
- ・ 幼虫はチャ・サザンカ・ツバキなどツバキ類の植物だけを食害します。



## ● 被害

- ・ドクガやチャドクガは、幼虫のみでなく卵・サナギ・脱皮殻・成虫全ての段階で毒針毛をまとっています。
- ・毒針毛は0.1mmほどの長さしかなく、幼虫の体に見える長い毛とは違います。
- ・毒針毛が皮膚に触れると、皮膚炎を発症し、激しい痒みを起こします。痒みは2~3週間続きます。
- ・ドクガなどに直接触れなくても、風で飛散した毒針毛で皮膚炎を起こすこともあります。

## ● 毒針毛に刺されたら

- ・触れたと思う箇所に粘着テープを貼って毒針毛を除去します。そして、流水でよく洗い流し、抗ヒスタミン軟膏（かゆみ止め）を塗ります。
- ・手でこすったり、搔いたりすると、かえって症状を悪化させます。
- ・症状がひどい場合は、医療機関に受診しましょう。

## ● 駆除するには

### 幼虫（毛虫）の発生を見かけたら

- ・幼虫がまだ小さくかたまっているうちに、箸でそっとつまんで捨てるか、枝ごと切り取って除去します。除去した幼虫は、ビニール袋に二重に密封し燃えるゴミに出します。
- ・幼虫が大きくなり、樹木全体に広がってしまった場合は、有機リン系殺虫剤を散布します。
- ・駆除は、風のない時に長袖・長ズボン・ゴム手袋などを着用し、肌が露出しないよう行います。
- ・死骸などにも毒針毛があるので注意が必要です。

### 成虫（蛾）を見かけたら

- ・成虫が飛んできた場合は、とまったところを濡らした新聞紙などで取り押さえ、押しつぶして捨てます。
- ・追い回したり、殺虫剤をかけたりすると、あばれて毒針毛を撒き散らすこととなります。

## ● 発生を予防するには

- ・早い段階で剪定を行い、風通しをよくしておきます。
- ・幼虫（毛虫）だけを観察するのではなく、卵の発生時期に、卵が葉の裏に付着していないか観察します。卵塊にも毒針毛が付着しているので注意が必要です。



ツバキの葉裏にあったチャドクガ卵  
(宮前区初山・8月)

屋外にいたチャドクガ成虫  
(宮前区有馬・7月)



相談事例

ツバキの葉に  
毛虫が沢山ついでいる…

